



新宿駅東口地区まちづくりビジョン（平成31年3月 新宿区）

【まちの将来像】

日本を代表する賑わいと歩きたくなるまち

～駅を中心とした2つの拠点と新宿通りを中心とした賑わい交流軸の形成～

- 新宿駅を中心とした「交流機能と新宿の顔を備えた交通結節拠点」
- 新宿三丁目駅を中心とした「商業や観光による賑わいの拠点」
- それらを結ぶ賑わい交流軸である新宿通りから地区全体に賑わいある歩行者空間を段階的に広げる

国際集客都市の形成

国内外から多くの来街者等が訪れるまちとして、多様な人々が快適に楽しむことができる賑わいあるまちづくりを推進

歩行者優先で回遊性の高いまちの形成

歩行者の回遊性と利便性を向上させ、ユニバーサルデザインに配慮した、歩いて楽しいまちづくりを推進

安全・安心で快適な都市環境の形成

災害時の対応力を高め、誰もが安全・安心に滞在できるまちづくり、環境に配慮した潤いあふれるまちづくりを推進

新宿駅 「交流機能と新宿の顔を備えた交通結節拠点」

新宿の拠点再整備方針（平成30年3月 東京都・新宿区）

- 更新期を迎えた駅ビルの建替えを契機として、敷地の整序を行いながら、駅、駅前広場、駅ビル等を一体的に再編（「新宿グランドターミナル」の一体的な再編）
- グランドターミナルの再編を契機として、その周辺の機能更新を促進し、新宿駅周辺地域全体として質の高い国際交流拠点を形成

新宿の拠点再整備方針の具体化に向けた拠点再整備検討委員会の検討を踏まえ、各鉄道事業者の駅ビル建替えと合わせて土地区画整理事業により基盤を再編

新宿三丁目駅 「商業や観光による賑わいの拠点」

新宿三丁目駅周辺の整備方針を検討するため、検討委員会を設立

検討委員会の概要

【目的】 「新宿駅東口地区まちづくりビジョン」では、新宿駅周辺を「交通結節拠点」、新宿三丁目駅周辺を「賑わいの拠点」、それらを結ぶ新宿通りを「賑わい交流軸」とし、まちの将来像である「日本を代表する賑わいと歩きたくなるまち」の実現を目指すこととしている。
まちの将来像を実現していくため、新宿三丁目駅周辺の「賑わいの拠点」について、必要な都市機能及び都市基盤等の整備方針を検討する

【検討範囲】 新宿三丁目駅周辺及び関連する区域

- 【検討事項】
- ①土地利用に関すること
 - ②都市機能に関すること
 - ③自動車ネットワークに関すること※
 - ④歩行者ネットワークに関すること※
 - ⑤駅施設に関すること
 - ⑥駐車場施設・荷さばき対策に関すること※
 - ⑦空間・景観に関すること
 - ⑧防災・みどり・環境に関すること
 - ⑨その他、委員会の目的を達成するために必要な事項
- ※影響範囲として三丁目地区全体が検討範囲となる場合がある。

【スケジュール】 検討委員会は全5回を予定

令和3年	2月	検討委員会設置、第1回開催
	5月	第2回開催
	8月	第3回開催
	12月	第4回開催（整備方針素案）
令和4年	3月	第5回開催（整備方針案）
	5月	整備方針策定